

教育開発支援センターからのお知らせ

学外からの来訪・講演依頼について(2013年度)

関西大学教育開発支援センターでは、学外からの訪問や講演依頼にも積極的に対応しております。今年度は、「アクティブラーニング」や、新たに本学に開設された「コラボレーション」に関するトピックを含む「コラボレーションコモンズ」に関して、特にご依頼を頂いております。学内外問わず、これらのトピック以外でも、高等教育に関することはお気軽に問い合わせください。

(CTL事務局)

●学外からの来訪

来訪大学	来訪日	来訪目的
国立台湾大学	4月23日(火)	FDに関する情報交換
熊本大学	6月 7日(金)	ライティングラボ視察
立命館大学	7月 5日(金)	スポーツ推薦入学生の修学支援
福岡工業大学	7月12日(金)	授業評価に関するヒアリング
立教大学	7月18日(木)	コラボレーションコモンズ視察
甲南大学	7月23日(火)	アクティブラーニングに関する取組ヒアリング
西オーストラリア大学	7月25日(木)	FDに関する情報交換
大学コンソーシアム京都	7月25日(木)	コラボレーションコモンズ視察
美作大学	9月 2日(月)	コラボレーションコモンズ視察
神戸女子大学	9月 2日(月)	コラボレーションコモンズ視察
中央大学	9月19日(木)	アクティブラーニングに関する取組ヒアリング
筑波大学	10月 1日(火)	コラボレーションコモンズ視察
大阪大学	10月 8日(火)	事務担当者意見交換、コラボレーションコモンズやライティングラボ視察
大阪工業大学	10月22日(火)	コラボレーションコモンズ視察

●学外からの講演依頼

講演先	講演日	テーマ・担当教員
筑波大学	6月26日(水)	「学習支援サービス人材養成のためのライティング支援セミナー」(教育推進部・小林至道特任助教)
甲南大学	7月30日(火)	「Active Learning 入門一步前」(教育推進部・三浦真琴教授)
聖路加看護大学	8月 7日(水)	「大学教育のFuture Design」(教育推進部・三浦真琴教授)
明治大学	8月 9日(金)	「『三者協働型アクティブ・ラーニングの展開』について」(教育推進部・三浦真琴教授)
東京富士大学	8月21日(水)	「アクティブ・ラーニング」(教育推進部・山本敏幸教授)
四天王寺大学	9月 3日(火)	「大学教育のFuture Design」(教育推進部・三浦真琴教授)
宇都宮大学	9月27日(金)	「アクティブ・ラーニングによる教育の現状と実践的課題」(教育推進部・三浦真琴教授)
大阪経済大学	10月25日(金)	「大学教育のFuture Design」(教育推進部・三浦真琴教授)

From
CTL事務局

3年生の就職活動がスタートした。企業が新卒採用に重視する上位は「コミュニケーション力、協調性、主体性」(経団連)であるそうだ。一方、文部科学省が「今正に我が国に求められているもの」と指し示しているものは「自立・協働・創造に向けた一人一人の主体的な学び」(教育振興基本計画)であり、「主体性」や「主体的」が、実業界と教育行政に共通するキーワードであるようだ。

私が大学に入学した頃は、高校と異なる授業の進め方に戸惑い、難解な文章や初めて目にする専門用語に大きな壁を感じた。

それでも「大学に行ったら、やりたいことを自分で見つけて努力しろ!」との恩師の言葉を思い出しながら、主体的に司法試験(旧方式)を目指したのだが、正直なところ「かなり辛かった。」という印象である。

最近はどうだろう。CTLでは、教員が一方的に知識を伝えるのではなく学習者が主体となるアクティブラーニングの考え方を取り入れた授業の進め方の開発・普及が追求されている。また、理解しやすい授業を提供すべくFDにも取り組まれており、壁はかなり乗り越えやすくなっているものと思う。

ただ、主体性は手取り足取り教えられるものではない。大学が出来ることは、学生

諸君が何かに取り組める環境を用意することで、壁を乗り越える資質は自ら養成しなければならない。企業は必ずしも興味ある仕事を提供してくれるとは限らない。世代が異なる上司やウマの合わない同僚とのコミュニケーション力、組織が目指すべき目標を理解する協調性も兼ね備えなければ、「主体性」を發揮する場は得られない。これらは大きな壁になるかもしれない。「今の大学生が羨ましい。」と思う反面、学生時代に「主体的」に壁にぶつかっておく経験は無駄ではないと思うが、学生諸君はどう考えるのだろうか。

(誠)